

医師と薬剤師が共同で投与プロトコールを作成

- 投与設計に手間がかかる薬物療法について医師と薬剤師が共同で、個々の患者への最適化を可能にする院内投与プロトコールを作成
- 個別化・最適化の投与計画の科学的(医学的・薬学的)妥当性を、実地臨床で医師と薬剤師で検証する
- 投与計画の長所も短所も知り尽くした薬剤師が、以後の処方設計支援を行い、医師が最終判断(処方)をする
- 医師の負担軽減と、治療の質(有効性と安全性)の向上が、医師と薬剤師の協働により実現する。